

ワークショップ「原子力と社会に関わる研究は何をすべきか」開催ご案内

福島第一原子力発電所の事故による災害により、科学と社会の関わりのあるあり方について多くの問題提起があり、科学・学術の信頼が大きく揺らぐことになりました。文部科学省の競争的研究資金制度「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」の中でも原子力に関わる人文社会学的研究が実施されてきたところですが、まだ解決されていない課題が数多く残っております。

そこで、科学技術振興機構はこの分野の活性化のため、東日本大震災を踏まえて原子力と社会のあり方について、人文社会学に求められていることを、各界有識者の皆様に議論して頂くワークショップを以下のとおり開催致します。

特に、将来を担う若い世代の研究者の皆様にご参加いただきたく、ご案内致します。

ご参加ご希望の方は、2月23日(木)までに、以下より事前申込をお願い致します。

参加申込

- 日時：平成29年2月25日(土) 13:30~17:00(予定)
- 場所：科学技術振興機構 東京本部別館 2階会議室 (千代田区五番町7番地)
「市ヶ谷」駅より徒歩5分 [「市ヶ谷駅」からの詳細地図ページ\(写真付\)](#)
- プログラム (敬称略)

13:30~	開会挨拶	事業構想大学院大学教授/東京大学名誉教授	岩田修一
13:35~	基調講演 「目前にあるけれど見えにくい重要問題とどう向き合えるか?—構造災」		
		東京大学大学院人文社会系研究科 教授	松本三和夫
14:05~	コメント	(座長)東京大学大学院法学政治学研究科 教授	城山英明
14:20~	質疑		
14:35~	パネル討論 「原子力と社会に係わる研究は何をすべきか」		
	(パネリスト)		
		相馬中央病院 内科診療科長	越智小枝
		立命館大学 准教授	開沼博
		日本経済新聞社 編集委員	滝順一
		東京大学大学院工学系研究科 教授	山口彰
		国際廃炉研究開発機構 専務理事	吉澤厚文
	(ファシリテーター)	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門企画調整室 技術副主幹/長岡技術科学大学大学院 准教授	大場恭子
16:30~	質疑		
16:45~	取り纏め「これからの研究課題」として		
		早稲田大学政治学研究科 准教授	田中幹人
		東京大学 先端科学技術研究センター 教授	馬場靖憲
17:00~	全体総括	事業構想大学院大学教授/東京大学名誉教授	岩田修一

4 本件に関する問い合わせ先

科学技術振興機構 環境エネルギー研究開発部 原子力研究グループ 相田俊一

TEL : 03-3238-7681

E-mail : syunichi.aida@jst.go.jp